

**令和6年度広島県DX支援環境構築業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和6年7月23日 10時00分から11時25分まで
2	場 所	広島県庁本館3階経営戦略審議官会議室 ※提案者はZoomにより出席
3	出席委員	総務局 DX推進担当部長 総務局 情報戦略担当部長 総務局 DX推進チーム担当課長 商工労働局 経営革新課長 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長 中小・ベンチャー企業支援担当（当日は代理人が出席）
4	議 題	令和6年度広島県DX支援環境構築業務公募型プロポーザルに係る第2次審査（プレゼンテーション審査）について
5	担当部署	総務局 DX推進チーム
6	開催方法	参集（オンライン併用）
7	議事内容	<p>選定委員会において、提出された企画提案書を基にプレゼンテーション審査を行った結果、基準点を越えたため、提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>A社：特定非営利活動法人ITコーディネータ広島</p> <p>各選定委員の主な評価・選定理由については、次のとおりである。</p> <p>【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験豊かな者が豊富な実績に基づいて事業を進める内容となっており、全体として評価は高いが、細部の詰めが甘いところや、趣旨をよく理解していない部分が見受けられるので、実施に当たっては綿密な意識合わせが必要。 ・運営ができると思うが、効果が出るかどうかは難しいと感じた。 ・類似の業務を過去に数多く実施しており、その際の気づきや反省点も当該事業に反映させており、事業効果に期待が持てる。 ・一部の支援業務において、やや抽象的な提案内容が見受けられるものの、全般的には提案者の豊富な実績や県内でのネットワークの構築、また、講師候補者の数等も十分であり、円滑な事業実施が期待できる。

		<ul style="list-style-type: none">・事例研究会において、出演企業は幅広い業種の企業を候補としており、一定の評価ができる。集客については、支援機関を通じた広報に加え、幅広い集客方策の工夫を期待したい。・支援機関向け研修において、企画内容がやや抽象的であり、具体的なカリキュラム内容の事例等があれば分かりやすいと考える。・デジタルツール研修において、業種ごとの特徴的な課題やそれに対応した汎用性が高く、比較的導入しやすい複数のツールの提案がベースとなっており、受講者への訴求力が高い。メインターゲットを銀行、信金、診断協会とした理由・考え方が若干弱いように感じる。・DX推進支援環境の構築において、仕様書上は受付件数を「60件以上」としており、「最大で60件」との提案はやや見劣りする。専任者を配置するとなっているが、具体的な運営体制がやや不明瞭と感じる。・支援者育成プログラムにおいて、過去の支援ノウハウを活用した支援プログラムとなっており、支援者が一定のスキル・ノウハウを会得できることが期待できる。併せて、情報交換会を開催する等、企画に一定の工夫が見られる。
--	--	---